

シラバス

ナンバリングコード/ 科目番号	HE35021	
科目名	医療情報管理学	
科目名 (英語)	Medical Informatics	
授業形態	講義	
標準履修年次	4年次	
実施学期・曜時限等	秋学期 A, B 火 2 時限	
使用教室	4B116	
単位数	1 単位	
担当教員名	高野晋吾 (医学系学系棟), 大川敬子 (医科学修士棟 308・3254), 大原 信 (病院電算室・3617), 本間 覚 (医学系学系棟・3104), 橋本幸一 (E棟2階211-2室・7945), 五所正彦 (医学系学系棟・3415), 土岐浩介 (附属病院・7173), 山岸良匡 (医学系学系棟・2695), 鶴嶋英夫 (医学系学系棟・PHS 7689), 村谷匡史 (医学系学系棟・7645), 正田純一 (医学系学系棟・5795)	
備考	実務経験教員: 高野晋吾, 大川敬子, 大原 信, 本間 覚, 橋本幸一, 五所正彦, 土岐浩介, 山岸良匡, 鶴嶋英夫, 村谷匡史, 正田純一	
使用言語 (☑してください)	☑日本語 ・ □英語 ・ □バイリンガル	
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント (TA)	なし	
オフィスアワー等	オフィスアワーは特に定めませんが, 事前連絡をしてから訪問すること	
学位プログラム・コンピテン スとの関係	汎用	3.データ・情報リテラシー
	医療	3.臨床検査の知識と実践力
	国際	3.臨床検査の知識と技術
授業の到達目標 (学修成果)	医療機関における患者の診療情報の取り扱い, 応招義務と守秘義務, インフォームドコンセント、医療情報システム基盤と IT の活用, 臨床研究, 地域医療や感染症予防における情報提供のあり方などについて理解する。	
他の授業科目との関連	なし	
履修条件	なし	
授業概要	医療の現場では良質な医療とその適切な量について様々な議論がなされている。記録とその保管や通信は紙媒体から電子媒体に移り, さらに議論が活発なものとなっている。 授業の前半では, まず医療情報とは何か, 医療情報システムの基礎と IT の進歩が医療に及ぼす影響について学ぶ。次に, 医療事故等を通して情報の価値判断や伝達方法が問題になったこと, また人々の健康志向, 患者中心の医療や地域保健への取り組みが展開する中で, 健康や疾病予防	

	<p>そして安全に関する情報提供が重要となっていることについて学ぶ。後半では、臨床試験／治験を取り上げる。情報の収集、管理、活用が集中的に行われる好例である。医薬品や治療器具、医用材料、治療・診断装置、機能性食品の開発においては、科学技術的シーズがいかにして臨床現場に結び付けられているのかの全体プロセスとその中で医療情報がどのように利用されているかを理解する必要がある。併せそのプロセスの効率的な運用のために必須な各種の情報処理技術、各種規制・手続きなど情報の管理プロセスについても学ぶ。臨床研究の蓄積は医療を変えつつある。</p>
キーワード	医療情報、個人情報、臨床研究、医療事故、IT 活用
授業計画 (変則日程有)	<p>学校現場における実務経験がある教員が、その経験を活かし、オムニバス形式により、医療情報、個人情報、臨床研究、医療事故、IT 活用などに関する講義をおこなう。</p> <p>第1回 大川講師 10/8(火)2限 医療情報システムの基礎 第2回 大原教授 10/15(火)2限 ITの進歩と医療 第3回 本間教授 10/29(火)2限 医療事故防止とリスクマネジメント 第4回 山岸准教授 11/7(木)1限 メディアを用いた健康教育 第5回 高野教授 11/7(木)2限 医療に関わる各種記録と医療契約(応対義務と守秘義務) 第6回 橋本教授 11/12(火)2限 医療・医薬に関わる橋渡し研究プロセスと情報活用概論 第7回 村谷教授 11/19(火)2限 医薬品・医療機器のシーズ探索におけるバイオインフォマティクス 第8回 鶴島准教授 12/3(火)2限 臨床研究におけるデータの質と利益相反 第9回 五所教授 12/10(火)2限 医療情報と臨床研究 第10回 土岐講師 12/17(火)2限 医療における薬剤情報の活用</p>
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	講義(100%)
単位取得要件	出席状況(70%以上の出席)および期末試験の成績(60%以上の得点)を必須とする。
成績評価方法	期末試験の点数に基づいて標語(A+~C)で評価する。
教材・参考文献・配付資料等	配付資料
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	